

令和4年3月度 ひやりはっと集計結果 (令和4年11月～令和5年3月)

場所

- ・事業所外 0件
- ・事業所内 7件 (△の部屋5件、事務室1件、園庭1件)

当該者の年齢

- ・3歳 3件
- ・4歳 2件
- ・7歳 1件
- ・職員 1件

状況

- ・転倒 1件
- ・転落 1件
- ・怪我 4件
- ・落下物による負傷 1件

原因

- ・指導員の予測・注意不足
- ・物の配置に関する確認不足
- ・インテーク時の身体的特徴に関する聞き取り不足

総論

以前よりも衝動性の高い利用児童による転倒や怪我が減っていることが確認される一方で、痲癢時や、粗大運動をはじめとしたテンションが高揚している際の対応時における怪我が複数認められた。基本的な環境整備は実現できていると考えられるが、利用児童ごとの運動負荷を考慮したり、多角的に危機予測をたてて、療育内容を柔軟に変更したりすることが今後は求められる。また、指導員間だけでなく、保護者との報告・連絡・相談も密に行い、引き継ぎ不足や注意不足によるひやりはっとを減らしていくよう心掛ける。